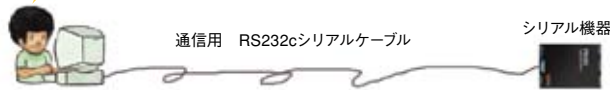


シリアルケーブルを使わずにシリアル通信ができたらと思ったことはありませんか。
 機器にParani-SD/UDシリーズ製品をアドオンするだけで、ドライバーインストール不要でシリアル通信をBluetoothワイヤレス化できます。
 ケーブル長や移動制限にとらわれない「ケーブルからの解放」をご提案します。

接続図

ケーブルが長くて邪魔だな…



ワイヤレスですっきり～



Paraniのマルチ接続例

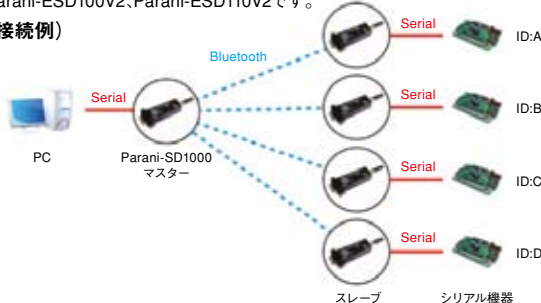
1台のマスター機器が同時に4台のスレーブ機器と双方向通信(マスター機器<--->スレーブ機器)を行います。RS422/485のマルチドロップ通信と類似しています。

Multi Drop mode (マルチドロップモード)

データがマスター機器のシリアルインターフェースを通して送られてくると、そのデータは全部のスレーブ機器に一齐送信されます。一方、スレーブ側の機器にシリアルデータが送られると、マスター機器のみに送信されます。

対応製品は、Parani-SD1000 ver.2、Parani-SD1000U、Parani-ESD1000 ver.2、Parani-ESD100V2、Parani-ESD110V2です。

(接続例)



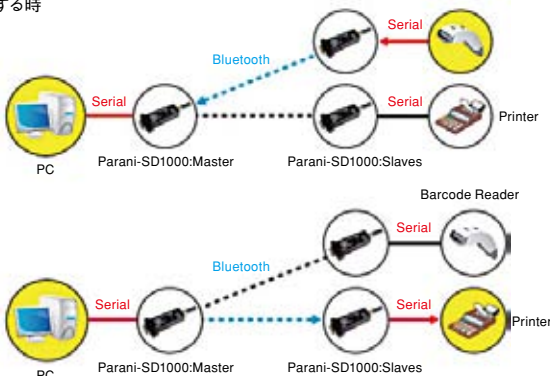
Node Switching mode (ノード・スイッチモード)

1台のマスター (M)機器は4台のスレーブ(S1, S2, S3, S4)機器に常時接続していますが、データは一度に1台のスレーブのみに送信するモードです。どのスレーブ機器にデータを送るかは、ATコマンドにより選択できます。従来の1:1接続の場合と比較すると、Node Switching modeはより速く、より簡単に接続の切り替えが可能となります。

(接続例)

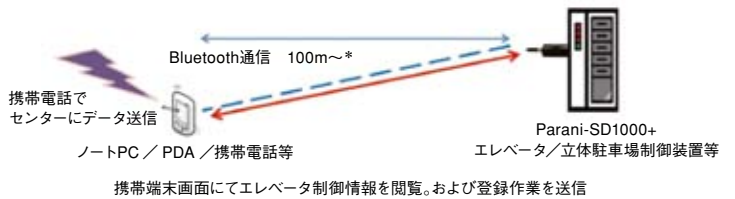
Node Switching modeは1台のマスター機器が複数のBluetooth機器と連続的通信をする場合に有効です。

- ホストにより制御されたバーコードスキャナとプリンタとの通信
- 複数のシリアルプリンタまたはディスプレイモニター間でホストが接続を変更する時

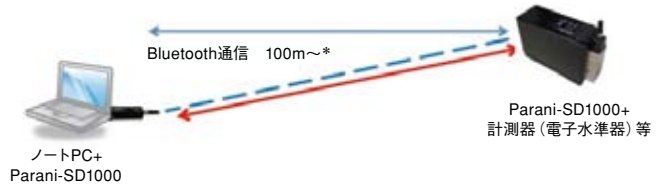


事例

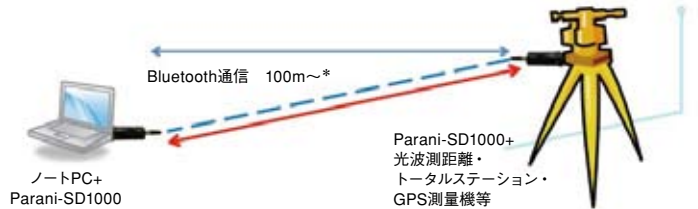
エレベーターメンテナンス機器からのデータをBluetoothで携帯端末に送信、メンテナンスセンターへデータを送信



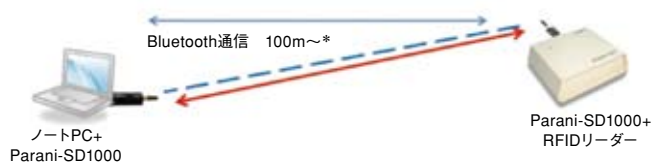
Parani-SD1000で電子水準器のデータをBluetooth無線送信



Parani-SD1000で測量機器とPC間をBluetooth無線化



RFIDリーダーからの読み取りデータをBluetoothでノートPCに送信、データを管理



LED電光掲示板とコンソール用PC間をBluetooth接続



ポータブルPOSハンディターミナルとレシートプリンタを無線接続

